



# 上川井だより

4月号

令和2年4月7日  
横浜市立上川井小学校  
校長 山崎 真紀子

## ご入学 ご進級おめでとうございます

桜の花びらが舞う暖かい日差しの中、新しい春がやってきました。昨日27名の元気な1年生を迎え、全校児童116名でのスタートです。

保護者の皆さま、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

この4月から、前任の縣優子校長より引き継ぎました、山崎真紀子と申します。上川井小学校から見ると、旧上瀬谷通信基地の西側にある上瀬谷小学校より着任いたしました。

「子どもは子どもの中で育つ」ということが私の考え方の基本にあります。教師が躍起になって教え込もうと思っても、子どもたちは思い通りにはなりません。少し年上のお兄さん、お姉さんのまねをしたり、憧れて近づこうと頑張るうちに成長していくことが多いように思います。教師は、そうした子どもの学びの種をまき、知恵という水をやり、愛情という陽の光を注ぐことが仕事だと思っています。

上川井小学校は、歴史も古く、地域に愛され多くの支援をいただいている学校と伺っています。子ども同士の学び合いの機会や人とのふれあいの場を大切に、保護者の皆様、地域の皆様とともに上川井の子どもたちが「自分が輝き、みんなが輝く」ように、教職員チーム一丸となって取り組んでまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

新しい春がスタートしたとはいえ、新型コロナウイルス感染症の脅威が日本だけでなく、世界中を覆い尽くしています。感染症に罹患された皆様の一日も早い回復をお祈りするとともに、この事態が収束し、いつもの生活が戻るよう願って止みません。

東京オリンピック・パラリンピックが延期となり、オリンピックやパラリンピックにとっては練習もままならない日が続いているようです。どんな思いでいるか彼らに尋ねるインタビューがニュースで紹介されていましたが、「オリンピックに出たい、出場して勝ちたいという気持ちに変わりはありません。その目標に向かって今できることを積み重ねるだけです。」と答えていました。

学校再開が延期となり、子どもたちの抱えるストレスや保護者の皆様のご負担を考えると胸が痛みます。学校としてできる限りの支援をと、休業中の学習についても教職員みんなで知恵を出し合い準備いたしました。ご家庭での協力をお願いしなければならないことも少なくありませんが、よろしく願い致します。学校が再開し、日常が戻ったときの目標に向かって、今できることを学校としても準備してまいります。今は、ウイルスに感染しないこと、運ばないことが何よりも大切な時期です。どうぞご家庭でも体調に気を付けてお過ごしください。